

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	核医学検査技術学2 (Nuclear Medicine Technology 2)		
ナンバリングコード	S20224	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 診療放射線学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修: 診療放射線学コース 選択: 臨床検査学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S004501	クラス名	-
担当教員名	野口 敦司		
履修上の注意、 履修条件	診療放射線学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	新核医学技術総論 [臨床編] (山代印刷株式会社)		
参考文献及び指定図書	最新臨床核医学 (金原出版)、他多数		
関連科目	放射線医薬品学、核医学検査技術学1		

○基本情報		
授業の目的	1.核医学検査の目的と疾患に対応した検査方法・手技について学び、概要が説明できるようになる。 2.医学検査の代表的疾患の解析方法、定量値、検査所見レポート作成について学び、概要が説明できるようになる。 3.核医学治療について、内用療法の基礎と臨床応用について学び、概要が説明できるようになる。	
授業の概要	核医学検査は、放射性同位元素 (radioisotope: RI) を用いて診断する検査法である。さらに、RIを体内に投与して治療も行う。本科目では目的と疾患に対応した検査方法・手技について学び、さらに、代表的疾患の画像解析方法、定量、および検査所見レポート作成について学ぶ。講義内容として、核医学検査の特性、脳神経核医学、PET検査の特徴と臨床的重要性、骨シンチグラフィ検査、腫瘍・炎症核医学検査について学修する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	病院で核医学診療を担当した診療放射線技師が授業を担当します。	

○成績評価の指標		○成績評価基準 (合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	70点	30点	
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足 (具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
期末テストは100点満点で行い、70点満点に換算する。 課題のレポートは内容により評価し、提出時期の遅れや未提出は減点する。 成績に関し期末試験70点+レポート等の評価30点で行い、60点以上を合格とする。 課題のフィードバックは次回以降の授業中に行う。

○その他
授業は教科書を基本に進めていき、図表の解説やディスカッションを交えて展開する。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	核医学検査技術学2 (Nuclear Medicine Technology 2)	授業コード	S004501
		担当教員	野口 敦司		
学修内容					
1. 脳神経系					
脳神経系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習	シラバスと教科書を読み、講義内容の予習をしておくこと。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間
2. 脳神経系					
脳神経系のPET検査について学修する。					
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間
3. 脳神経系					
脳神経系の画像読影について学修する。					
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間
4. 循環器系					
循環器系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間
5. 循環器系					
循環器系のPET検査について学修する。					
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間
6. 循環器系					
循環器系の画像読影について学修する。					
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間
7. 骨系					
骨系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間
8. 腫瘍・炎症系					
腫瘍・炎症系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。				約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理。				約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	核医学検査技術学2 (Nuclear Medicine Technology 2) 野口 敦司	授業コード	S004501
学修内容					
9. 腫瘍・炎症系 腫瘍・炎症系のPET検査について学修する。					
予習		前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理。			約2時間
10. 呼吸器系 呼吸器系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習		前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理。			約2時間
11. 内分泌系 内分泌系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習		前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理。			約2時間
12. 消化器系 消化器系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習		前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理。			約2時間
13. 泌尿器系 泌尿器系のガンマカメラを用いた検査について学修する。					
予習		前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理。			約2時間
14. 小児核医学 小児核医学検査について学修する。					
予習		前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理。			約2時間
15. 核医学治療 核医学治療について学修する。					
予習		前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理。			約2時間
16. 期末試験					
予習					約2時間
復習					約2時間